

# 匠の部屋

たくみのへや



吉野 健一 (よしの けんいち)

1986年日本医科大学卒業。同年慶應義塾大学眼科学教室入局。1992年 University of Miami Bascom Palmer Eye Institute 留学。1995年吉野眼科クリニック開業。東京歯科大学市川総合病院眼科講師。日本医科大学眼科学教室講師。日本コンタクトレンズ学会誌編集委員。

## ◆吉野眼科クリニック◆

東京都台東区上野1-20-10  
風月堂ビル6F  
TEL: 03-3839-5092  
URL: <http://www.yoshino-eye-clinic.com>



ドライアイの概念を日本に持ち込んだ研究グループの一人  
外科医を開業していた父親を見て育った吉野医師は、幼い頃から医療の世界を肌で感じていた。そして、いつしか医者になりたいという夢が自然に芽生えていたと言う。

「設備の面でも大学病院に負けない、地域に密着した病院を創りたいと思っていました。医学を学び、器用な手先を最大限に生かせる眼科医の道を選択しました」

吉野医師はアメリカで確立されたドライアイの概念を日本に持ち込んだ研究グループの一人である。1990年から2年間、慶應義塾大学で先駆的にドライアイ外来を担当し、アメリカ留学を経て吉野眼科クリニックを開業した。

「眼の表面を潤す涙の量が減り、乾燥してしまう状態がドライアイです。眼が重い、開きづらい、充血するなど不快感を伴い、その程

度も種類も様々です」

ドライアイの病態は、涙の分泌が減る“涙液分泌減少型”とパソコンの使用やコンタクトレンズの装用に代表される、涙が蒸発してしまう“涙液蒸発過多型”の二つに分類される。「パソコンの長時間使用による眼の不快感に悩む患者さんが増加しています。コンピュータの画面や小さい文字を集中して見続けると、まばたきの回数が減り、眼が乾いてしまうのです。眼に掛かる負担も大きく、眼精疲労の原因にも繋がります。ドライアイと眼精疲労の症状を同時に訴える患者さんも少なくありません」

確かな技術と人間らしさが患者さんの笑顔と希望に

ドライアイや眼精疲労が原因で失明する危険性は極めて低い。「それゆえに治療の重要性が軽視されているように感じます」と現状を指摘する吉野医師。

「眼の不快感の強さは想像以上

## 吉野眼科クリニック 吉野健一医師

～『患者が決めた!いい病院ランキング』眼科部門1位(2003年オリコンメディカル出版)～

コンタクトレンズの装用やコンピュータの多用により発症する、ドライアイ・眼精疲労。眼の不快感を解消し、心地よい生活を取り戻したいと願う人々の思いをかなえるべく力を注ぐ吉野健一院長にお話を伺うため、東京都上野御徒町の吉野眼科クリニックを訪問した。

です。周囲の人はもとより、眼科医からもそれを理解してもらえず、遠方より当クリニックを訪れて下さる患者さんもいらっしゃいます」患者さんの苦しみを理解しようとする姿勢から、眼の表面の傷を分かりやすくする検査液など、新しい発想が生まれる。

「患者さんの切々たる悩みをお聞きしているうちに、医師として、そして一人の人間として考えさせられる瞬間が多くあります。症状の緩和だけではなく、心の対話をすることで不安を和らげ、患者さんの Quality of life(生活の質)の向上に繋がりたいと考えます」人間味溢れる率直な意見と時折交えるユーモアな会話により、患者さんに笑顔と希望が戻る。

誠意のこもった治療が支持される

吉野医師は近視・乱視の悩みに対してウェーブフロントレーシック(屈折矯正手術)を導入し、屈折矯正手術も多く執刀している。「コンタクトや眼鏡をうまく使えないのは辛いものです」と動機を語る。

また、吉野眼科クリニックは、必要でない限り、極力患者さんを

通院させないというポリシーがある。「診察中に、症状や処方したお薬の正しい使い方に合わせて、眼を温める、消毒するなど患者さんが自宅でもできるケアを説明します。自分自身で症状を緩和することができれば、患者さんは通院の手間が省けますし、再発の予防にもなります」患者さんの生活を第一に考える吉野医師の魅力がここにもある。

吉野眼科クリニックは「2003年、患者が決めた!いい病院ランキング」(オリコンメディカル出版)の眼科部門第1位になった。患者さんを大切にしている吉野医師の姿勢が患者さんに支持されたのだ。

「今までの診療方法が間違っていなかったと励みになりました。また、これに満足することなく努力するパワー源にもなっています」と気を引き締める。

最後に、「眼は体の一部分ですから全身のケア、そして精神的なケアを大切にしてください。内臓の疾患やストレスが要因で眼に症状が現れることもありますから」と温かいアドバイスを頂いた。

(取材協力:ヘルスピジネスマガジン社)

## 涙の流れ 図解

主涙腺から涙の成分が分泌される。

まばたきにより目の表面全体へ運ばれる。(潤う)

涙の10%は表面から蒸発。  
90%は涙点(上涙点・下涙点)から鼻腔へ排出。

鼻の粘膜から吸収される。

\*涙の分泌と排出バランスが崩れるとドライアイになり、角膜・結膜に傷がつく。

